

WEBセミナー用資料
2017年6月



ラッセル・インベストメント・グローバル・バランス (安定型/安定成長型/成長型)

追加型投信/内外/資産複合

愛称：ライフポイント[®]

トムソン・ロイター
リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2017



WINNER OF THE 2017
THOMSON REUTERS
LIPPER FUND AWARDS
JAPAN

■お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は

SBI証券

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■設定・運用は

ラッセル・インベストメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第196号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

お申込みにあたっては、最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

ラッセル・インベストメントのご紹介

総合的な資産運用のソリューション・プロバイダー

- 世界有数のグローバル・ネットワークと歴史を誇る運用会社調査チーム
 - 米国ワシントン州シアトルを本拠地とし、グローバルに23拠点を展開。
グループ全体の運用資産総額は約30兆円※1
コンサルティング対象資産総額 約251兆円※2
 - 創立は1936年。1980年より運用開始し、1986年に日本オフィスを開設。
- 複数の運用会社を組み合わせるマルチ・マネージャー運用のパイオニアで、グローバルに総合的な資産運用ソリューションを提供
 - 全世界で400以上の運用商品を提供



2016年12月末現在

※1米ドル=116.63円で換算。運用資産総額にはオーバーレイ運用を含みます。※2. 2016年6月末時点（2016年6月末のWMロイターの為替レート102.59円/米ドルで円換

ラッセル・インベストメントの主な受賞履歴



Pension & Investments
「Top 5 Ranked
Consultant」受賞

2010年～2016年
Pensions & Investment 誌
米国



#1 Global Broker
Transaction Cost
Analysis survey
2015-2016

“Transaction Cost Analysis”
survey
「#1 Global Broker」受賞

2015年～2016年
Institutional Investor誌 米国



CIO Outsourced CIO
Buyer's Guide 「Largest
Manager of Institutional
Outsourced Assets」受賞

2012年～2015年
aiCIO 米国



Pension & Investments
「A Leading Outsourcer」
1位受賞※1

2011年～2016年
Pensions & Investment 誌
米国



資産運用コンサルティング
会社ランキング
「Top Ranked Consultant」
受賞※2

2010年～2015年
Greenwich Associates 米国



CIO Transition Management
Survey
「Top Ranked in Client
Service」受賞

2013年～2016年
aiCIO 米国



European Pensions Awards
「Transition Management
Firm of the Year」受賞

2016年
European Pensions誌 英国



CIO - OCIO survey Client
Satisfaction 「Top rated in
Client Satisfaction」受賞

2016年～2017年
aiCIO 米国



Money Magazine Awards
「Best of the Best Gold
Winner for Best Multisector
Fund」受賞

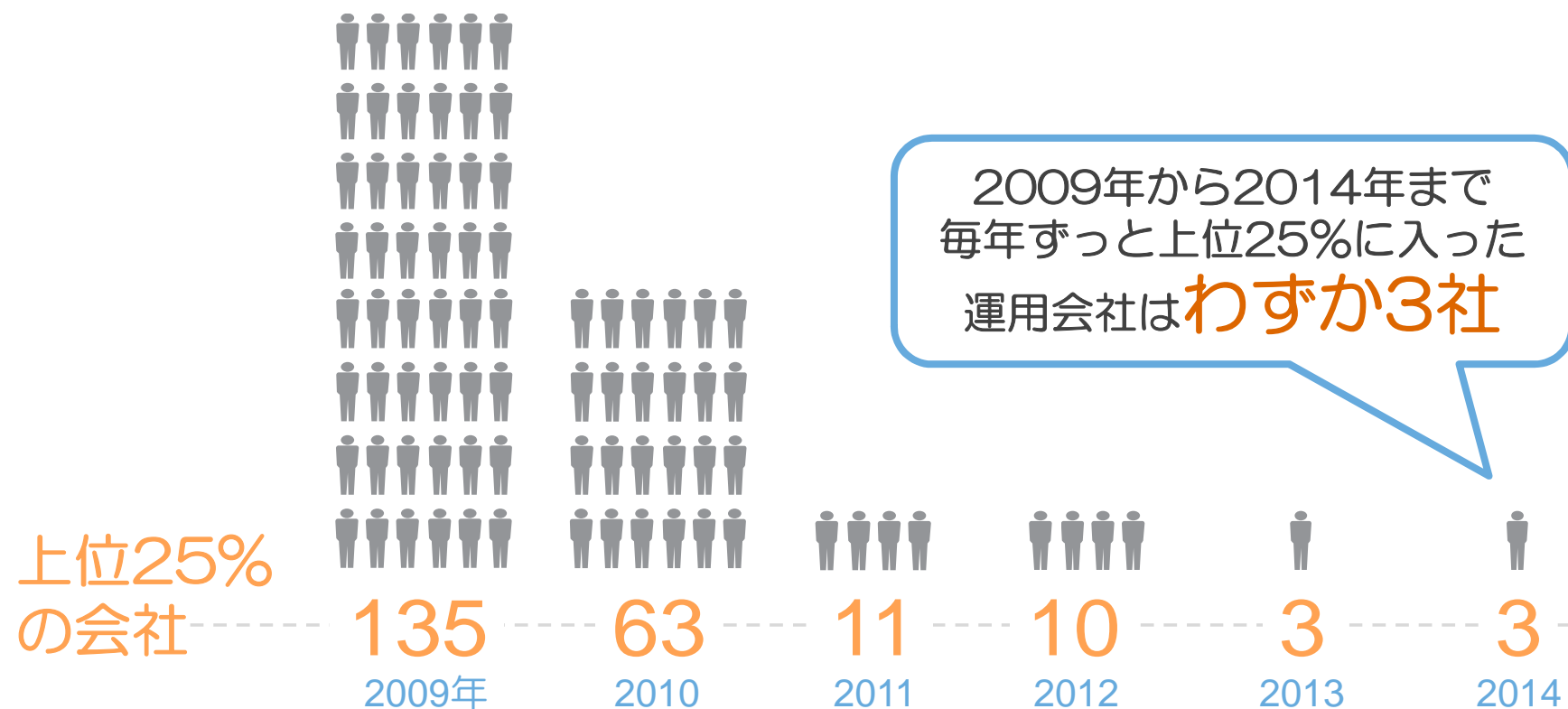
2014年～2017年
Money Magazine 豪州

2016年6月現在

※1 アウトソーシング対象資産総額に基づきます。 ※2 Greenwich Associatesの概要はこちら<http://www.greenwich.com/what-we-do>

良い運用実績はずっと続く？

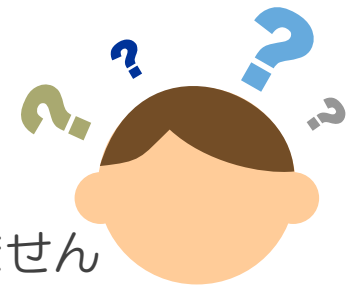
- 過去に運用実績が良かった運用会社が、将来も実績が良いとは限りません。



上記は過去の実績であり、いかなる記述も将来の投資収益等の示唆あるいは保証をするものではなく、またその結果の確実性を表明するものではありません。

出所：モーニングスター。米国オープンエンド・外国・大型ブレンド・ユニバースにある538社の2009年のリターンおよび翌年以降のリターン。2014年12月末時点。

運用会社選びの落とし穴



① 有名な運用会社が良い？

- コマーシャルの有無は運用の巧拙（上手下手）と関係ありません
- 日本で有名だからといって、世界で有名とは限りません

② ファンドの資産残高は大きい方が良い？

- 人気もまた、運用の巧拙と関係があるとは限りません
- 残高が増えすぎると、思ったような運用が出来ないことも

③ 信託報酬は低い方が良い？

- パッシブ・ファンド：原則としてそう言えます
- アクティブ・ファンド：優秀な運用担当者を選ぶには・・・？

④ 基準価額が10,000円を超えている方が良い？

- 運用開始時期にも左右されます。運用の巧拙と関係がない場合も

世界中から優れた運用会社を厳選します

- 過去の運用実績（定量分析）だけでなく、運用担当者の能力などの定性評価を通じ、将来に高い成果をあげることが期待できる運用会社を見つけ出します。

定量分析

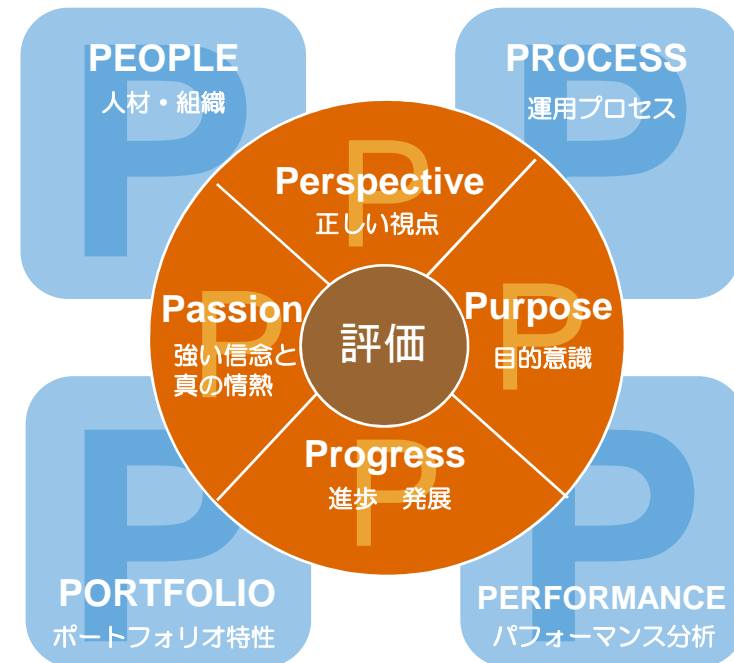
- ユニバース比パフォーマンス
- ベンチマーク比パフォーマンス
- 要因分析・売買動向
- ポートフォリオの特徴等



定性評価

- 運用担当者
- 投資哲学・カルチャー
- 意思決定プロセス
- マクロ経済・セクター・個別銘柄分析等

4つのPを見て、4つのPを発掘する運用会社調査



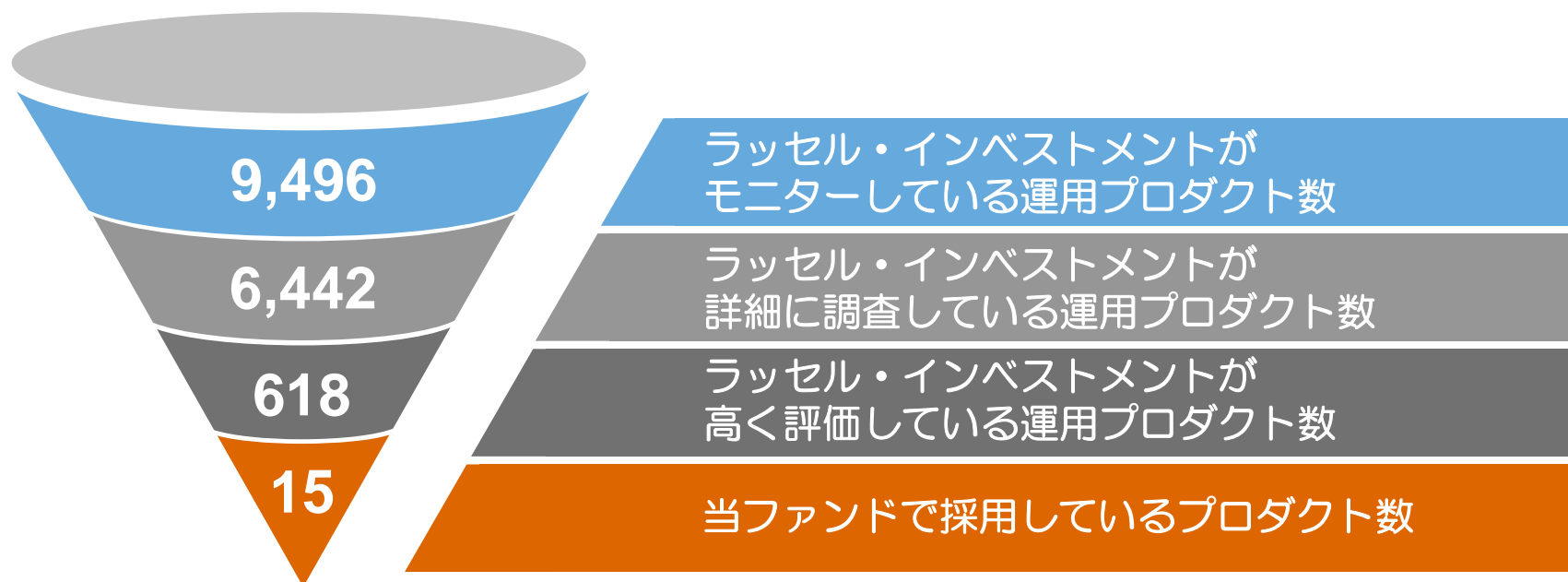
(イメージ図) 上記はイメージ図であり、現実を忠実に反映したものとは限りません。

世界中から広く運用会社を調査

130+ 運用会社調査とポートフォリオ運用に関わる運用プロフェッショナルの人数

39 調査対象の国数

2,200+ 1年間で運用会社と面談する回数

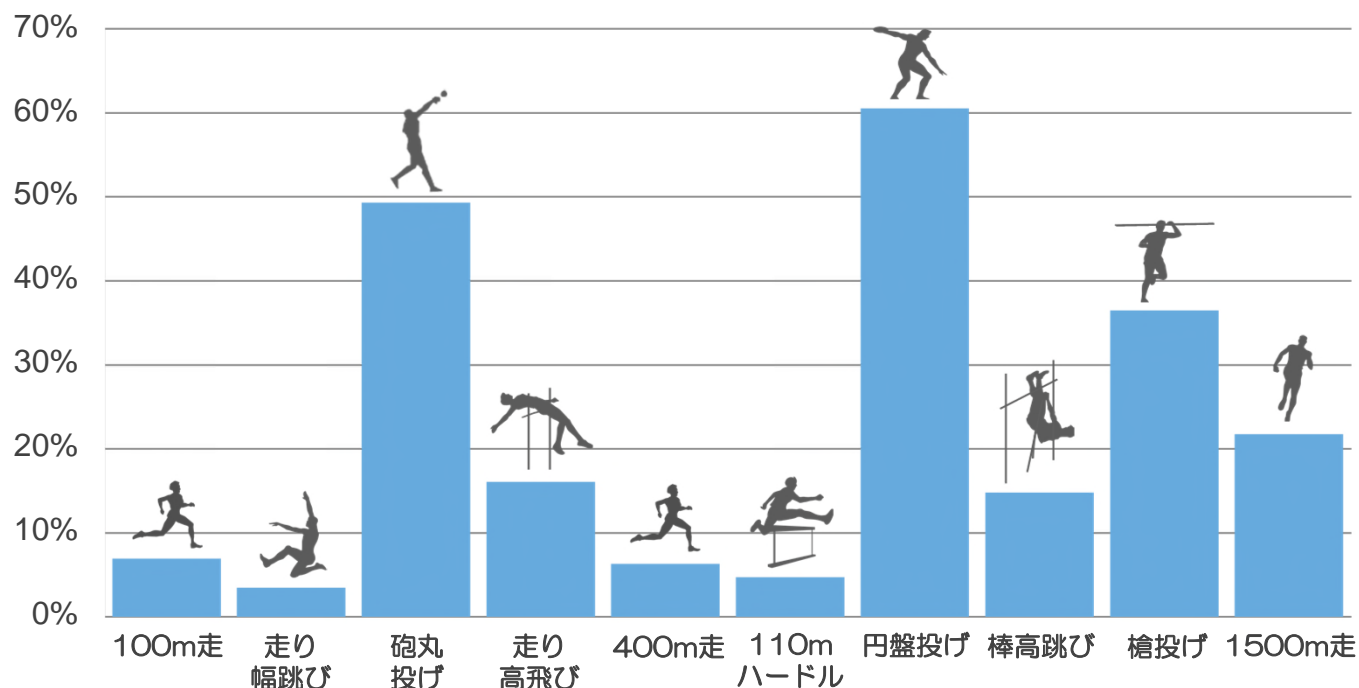


2016年12月末時点、グループ合算、伝統資産のみ
※運用プロダクト数は個々の運用会社の運用手法を指し、運用会社によっては複数有しているところもあります。

各分野のスペシャリストを選定します

- 全ての分野で高い運用能力がある運用会社はめったにいない。
- 各分野におけるスペシャリストを見つけだすことがカギ。

例えば・・・10種競技の金メダリストの記録に対する各競技の金メダリストの記録

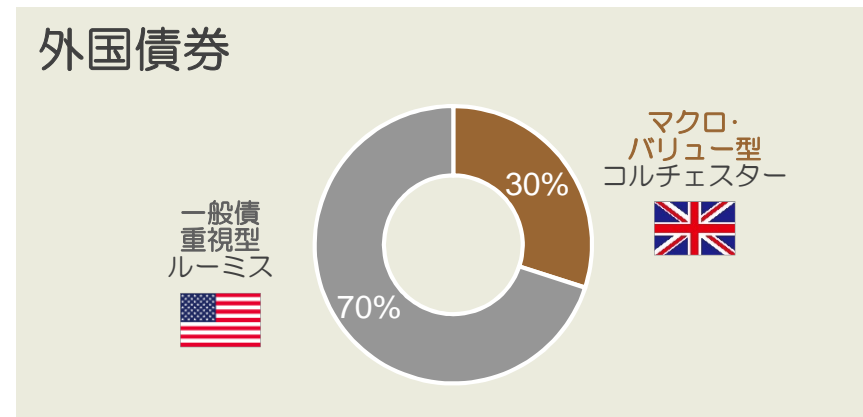
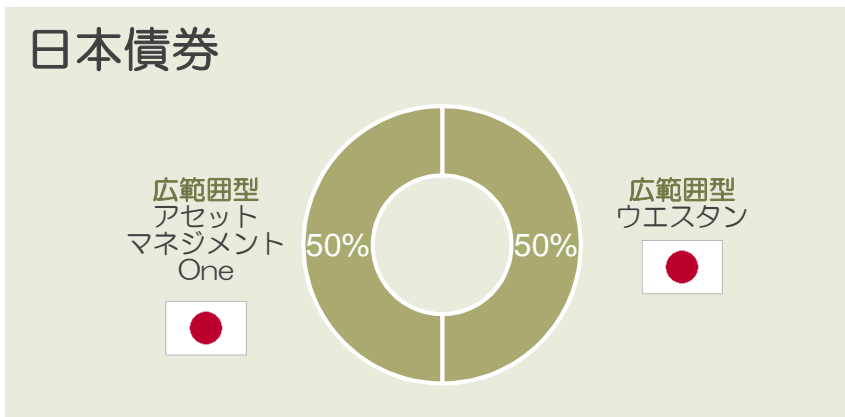
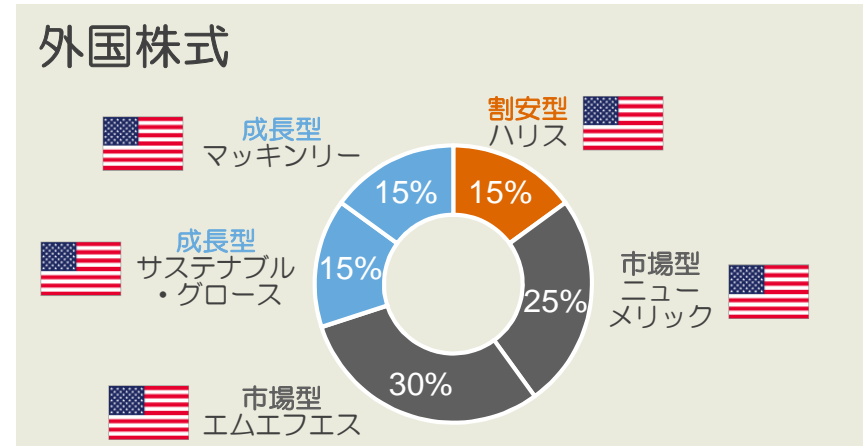
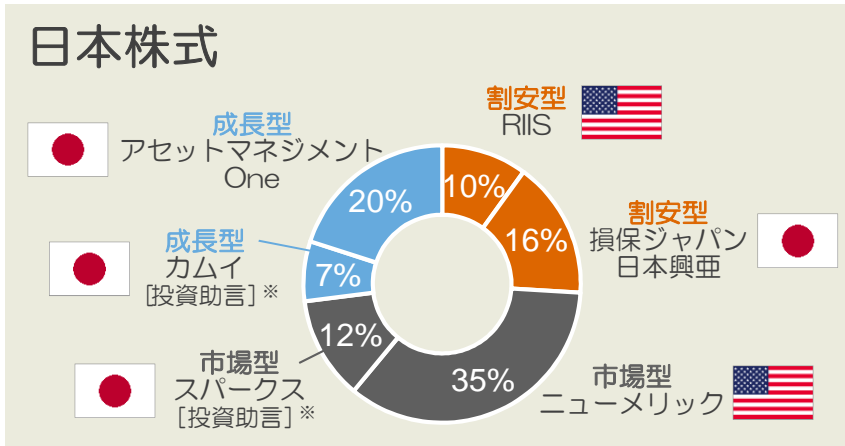


オリンピック専門種目の金メダリストの記録	9.63秒	8.31m	21.89m	2.38m	43.94秒	12.92秒	68.27m	5.97m	84.58m	3:34:08
オリンピック10種競技の金メダリストの記録	10.35秒	8.03m	14.66m	2.05m	46.90秒	13.56秒	42.53m	5.20m	61.96m	4:33:59

上記はロンドン・オリンピック時点における男子競技の記録です。 出所：www.london_2012.com

「ライフポイント」では世界中から運用会社を厳選

● 「ライフポイント」の外部委託先運用会社

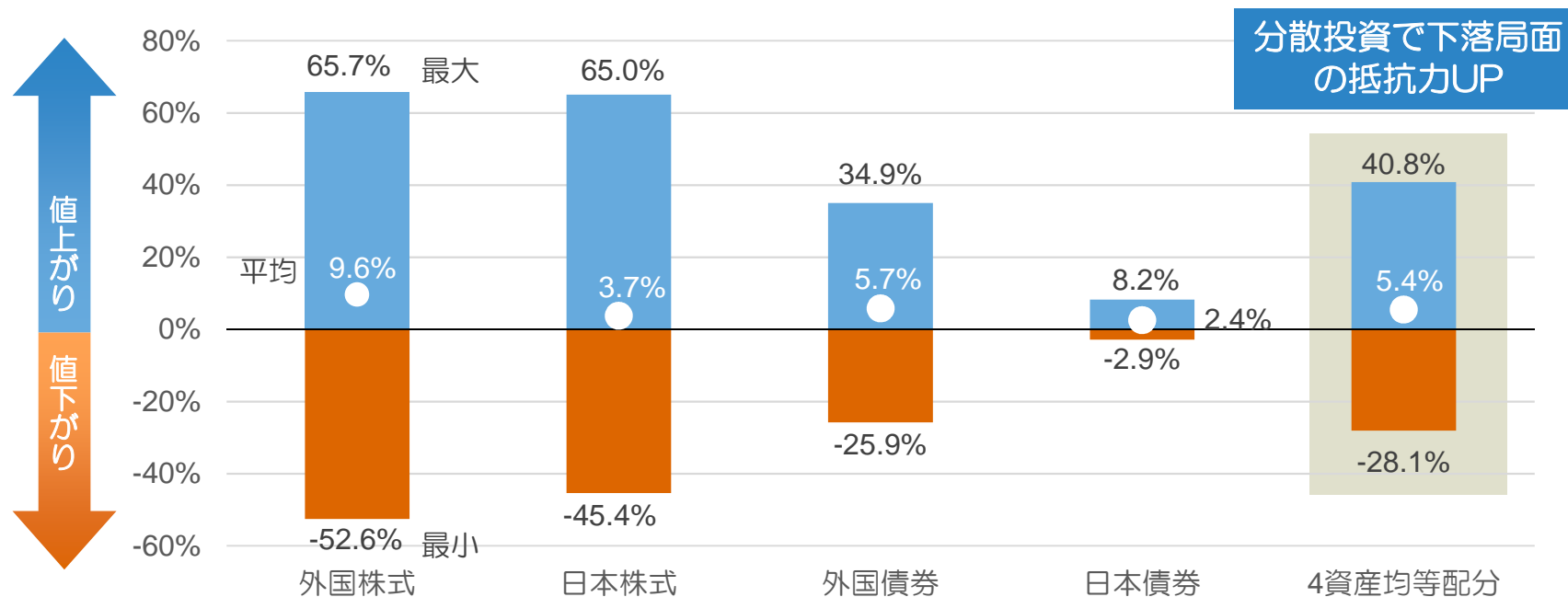


2017年6月現在

※カムイ、スパークスの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシズ・エル・エル・シー(RIIS)が運用の指図を行います。当ページに記載のファンドは、ファミリーファンド方式により運用するラッセル・インベストメント・グローバル・バランス（愛称：ライフポイント）の主要投資先であるマザーファンドに係わるものです。運用会社や目標配分割合の変更は、原則として事前の告知なく随時行います。

分散投資で値動きの振れ幅を抑えよう

- 資産別の1年間リターンの最大、最小、平均値（1997年4月～2017年3月）

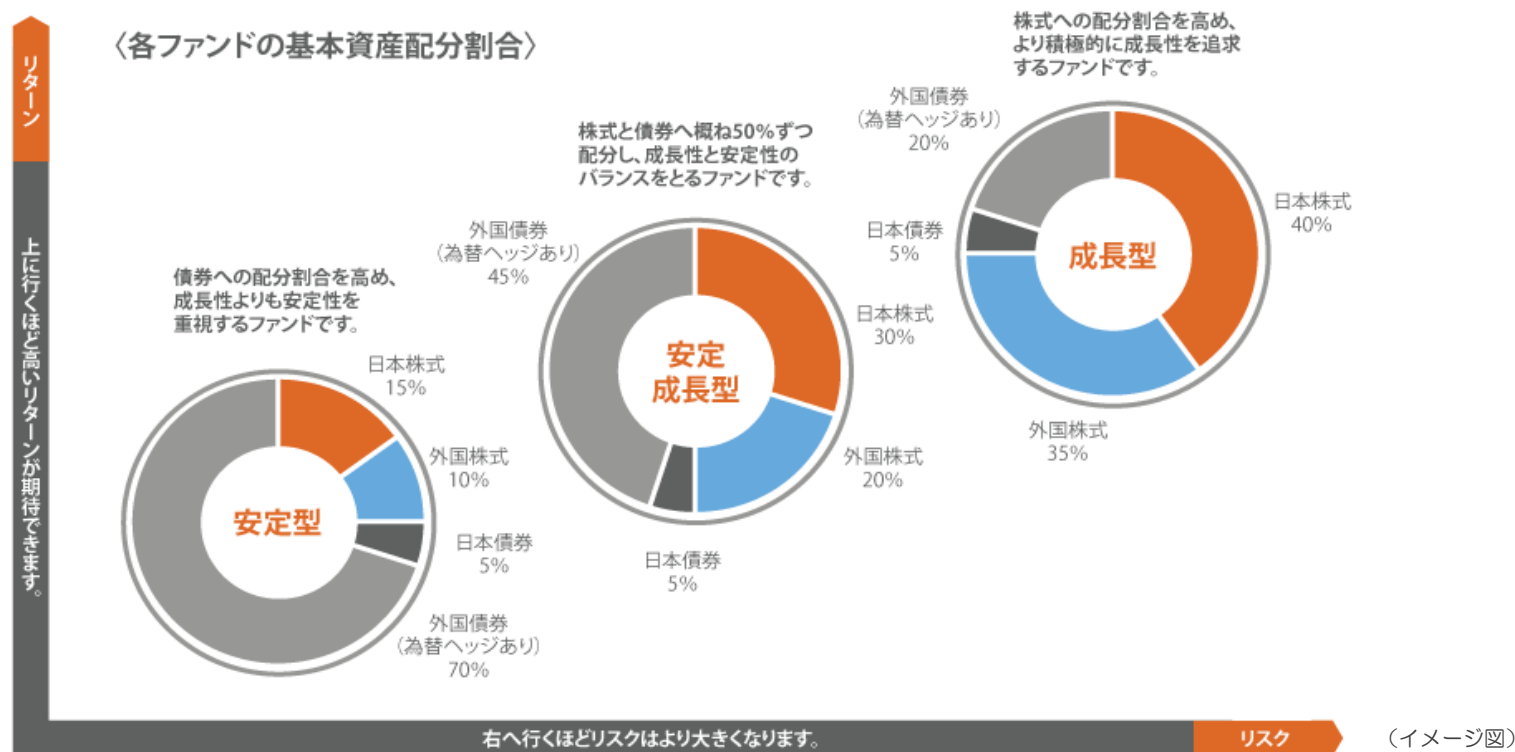


1997年4月から2017年3月末までの外国株式：MSCI KOKUSAI 指数、日本株式：TOPIX（配当込み）、外国債券：シティグループ世界国債インデックス（除く日本、為替ヘッジなし）、日本債券：NOMURA BPI総合指数の各月末時点のデータを元にラッセル・インベストメントが作成した12ヶ月間リターン。4資産均等配分は、外国株式、日本株式、外国債券、日本債券をそれぞれ25%の割合で組み合わせたポートフォリオ（毎月初にリバランスを実施。税金、手数料等は考慮していません）。

出所：上記インデックスのデータを元にラッセル・インベストメントが作成

上記は過去の実績であり、いかなる記述も将来の投資収益等の示唆あるいは保証をするものではなく、またその結果の確実性を表明するものではありません。インデックスは直接的に投資の対象となるものではありません。インデックスには運用報酬がかかります。

投資目的等に応じて3商品から選べます



- 4つの基本資産（日本株式/外国株式/日本債券/外国債券）はそれぞれのマザーファンドで実質的に運用されており、純資産額の合計は860億円（2017年5月末現在）です。
- 基本資産配分割合の見直しは年に2回、5年先を見据えて実施します。
- 必要と判断した場合には、±10%の範囲内で基本資産配分と異なる配分割合で投資することがあります。

上記の基本資産配分割合からの乖離幅は、±5%以内に収まるように管理します。また、現金等の短期金融資産を±5%以内で保有することがあります。

(注) 上記の図は、各ファンドの基本資産配分割合とリスク・リターンの関係を示したイメージ図であり、将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。資金動向、市況動向等により、上記のような運用ができない場合があります。

良好な長期パフォーマンス

(単位：%)

		1年	3年	5年	10年	設定来
安定型	リターン (年率)	4.55	4.32	6.84	3.62	3.26
	リスク (年率)	3.16	4.57	4.50	5.35	5.13
安定成長型	リターン (年率)	9.05	6.83	11.48	3.47	3.48
	リスク (年率)	6.86	8.30	7.95	9.94	9.51
成長型	リターン (年率)	13.54	8.91	15.98	2.96	3.45
	リスク (年率)	11.37	12.60	11.83	15.12	14.49

リターンはすべて信託報酬控除後。

- 世界中から厳選された優れた運用会社の結集と5年先を見据えた資産配分戦略により、良好な運用実績を上げています。

(各種データよりラッセル・インベストメント調べ)

2017年5月末時点
 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。

ラッセル・インベストメント・グローバル・バランス 成長型 (愛称：ライフポイント)

トムソン・ロイター リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2017 投資信託部門：ミックスアセット 日本円 積極型 (評価期間：10年) “最優秀ファンド賞”を受賞

※「ラッセル・インベストメント・グローバル・バランス (愛称：ライフポイント)」には、「成長型」のほかに「安定型」および「安定成長型」がありますが、アワードを受賞したファンドは「成長型」のみです。受賞の詳細についてはp.22をご覧ください。



WINNER OF THE 2017
THOMSON REUTERS
LIPPER FUND AWARDS
JAPAN

ラッセル・インベストメントは、ライフポイントの3ファンドの運用に対する総合評価として、「投資信託・ミックスアセット部門」で『最優秀運用会社賞』を受賞しました。

※受賞の詳細についてはp.22をご覧ください。

トムソン・ロイターリッパー・ファンド・アワードの評価の基となるトムソン・ロイターリッパー・リーダーズのファンドに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。トムソン・ロイターリッパー・リーダーズが分析しているのは過去のファンドのパフォーマンスであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。評価結果は、リッパーが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

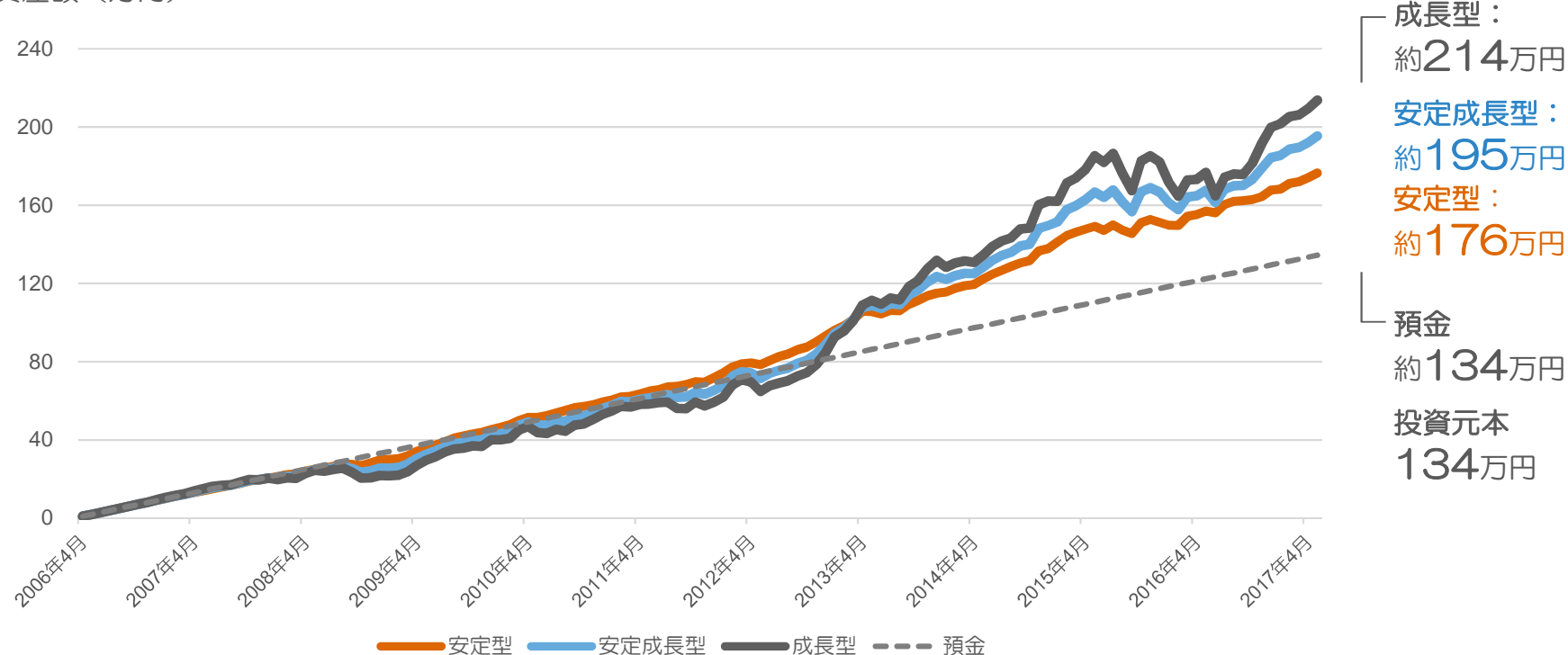
積立投資（時間分散）の効果はどのくらい？

- もし、約10年前（ファンド設定時）に投資を始めていたら・・・？

各ファンドに毎月1万円を積み立て投資した場合の資産額の推移

（積立投資期間：2006年4月～2017年5月）

資産額（万円）



※当ファンドの設定月である2006年4月から2017年5月までの133ヶ月間において、ファンドおよび預金に毎月月末に1万円投資した場合の資産額の推移。ファンドの信託報酬は控除後、販売手数料はなしと仮定（上限方式で販売会社が定めるため）。なお、当該期間において収益分配金の支払いは行っておりません。預金金利は日本銀行が公表する「1か月以上2か月未満/預入金額3百万円未満」の定期預金金利と仮定。

上記は一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。

ラッセル・インベストメント SBI証券 取扱ファンド一覧

ラッセル・インベストメント・グローバル・バランス
安定型／安定成長型／成長型
(愛称：ライフポイント®)

ラッセル・インベストメント外国株式ファンド
(愛称：ワールド・プロフェSSIONナルズ®)

ラッセル・インベストメント新興国増配優良株
A (米ドル円ヘッジ) / B (為替ヘッジなし)

詳しくはこちら：
<https://russellinvestments.com/jp/solutions/products/funds/fund-list>

お申込みメモ

※お申込みの際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご確認下さい。

購入単位	販売会社が定める単位 ※詳細は販売会社へお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 ※詳細は販売会社へお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
申込受付不可日	毎年12月25日
申込締切時間	午後3時までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。
購入の申込期間	2017年2月18日から2018年2月20日まで ※申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口のご換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他合理的な事情等があると委託会社が判断したときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。
信託期間	無期限(2006年4月28日設定)
繰上償還	各ファンドの純資産総額が30億円を下回る事となった場合等には、繰上償還となる場合があります。
決算日	毎年11月18日(休業日の場合は翌営業日)

お申込みメモ

※お申込みの際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご確認下さい。

収益分配	年1回の決算時に分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配の有無および分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託会社が決定します。 各ファンドには、「分配金受取りコース」と「自動けいぞく投資コース」があります。「分配金受取りコース」の場合、原則として、税引後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始します。「自動けいぞく投資コース」の場合、原則として、税引後、無手数料で自動的に再投資されます。なお、販売会社により取扱いコースが異なる場合がありますので、詳細は販売会社へお問い合わせください。
信託金の限度額	各ファンドにつき1兆円
公告	原則として、電子公告の方法により行い、委託会社のホームページ(https://www.russellinvestments.com/jp/)に掲載します。
運用報告書	毎決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、知られたる受益者に対して交付します。なお、運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページでご覧いただけます。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。
スイッチング	各ファンド間において、スイッチングができます。 スイッチングとは、各ファンド間において、各ファンドの換金による手取り額をもって、換金申込みと同時にライフポイントの他のファンドの購入申込みを行うことができます。 各ファンド間のスイッチングは無手数料で行えます。ただし、販売会社によってはスイッチングのお取扱いができない場合があります。なお、スイッチングにより換金されるファンドについては、通常の換金と同様に税金がかかります(税金については、後述の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。)。詳細は販売会社へお問い合わせください。

ファンドの費用等

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	2.16%(税抜2.00%)を上限として販売会社が定める手数料率とします。詳細は販売会社にお問い合わせください。	購入時手数料は商品説明や購入申込受付に係る事務手続き等の対価です。
--------	--	-----------------------------------

信託財産留保額 ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

各ファンドの日々の純資産総額に対し以下の率を乗じて得た額とします。運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに各ファンドから支払われます。

<信託報酬＝運用期間中の基準価額×信託報酬率>

信託報酬の配分(年率)

ファンド	信託報酬	支払先の配分		
		委託会社※	販売会社	受託会社
安定型	1.296% (税抜1.20%)	0.756% (税抜0.70%)	0.432% (税抜0.40%)	0.108% (税抜0.10%)
安定成長型	1.350% (税抜1.25%)	0.810% (税抜0.75%)	0.432% (税抜0.40%)	0.108% (税抜0.10%)
成長型	1.404% (税抜1.30%)	0.864% (税抜0.80%)	0.432% (税抜0.40%)	0.108% (税抜0.10%)

(役務の内容)

委託会社※	各ファンドの運用等の対価
販売会社	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドに係る管理事務、購入後の情報提供等の対価
受託会社	各ファンドの資産管理等の対価

※各ファンドおよび各マザーファンドで運用の指図にかかる権限の委託をしている各外部委託先運用会社への報酬額は、委託会社と当該各外部委託先運用会社との間で別途定められ、委託会社が受ける報酬から支払われます。

その他の費用・手数料 組入有価証券の売買時の売買委託手数料、先物・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等が各ファンドから支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※ファンドの費用(手数料等)の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

投資リスク

(基準価額の変動要因)

当ファンドの基準価額は、実質的に投資を行っている有価証券等の値動きや為替変動等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、当ファンドにおいて、投資者のみなさまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

株価変動リスク	株価は国内外の景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受けます。一般に、株価が下落した場合には、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
株式の発行会社の信用リスク	株式の発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が下落した場合には、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
金利変動リスク	債券は、金利の変動により価格が変動します。一般に金利が上昇した場合、債券の価格は下落し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
債券の発行体の信用リスク	債券の発行体が経営不振、資金繰り悪化等に陥り、債券の利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなる（債務不履行）場合、もしくは債務不履行に陥ると予想される場合、債券の価格が下落し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

投資リスク

為替変動リスク	外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が下落する要因となります。ラッセル 外国債券マザーファンドへの投資部分については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。為替ヘッジを行う際、円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低い場合には、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストが発生します。
カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、ファンドの基準価額が下落する要因になり、また投資方針に沿った運用ができない可能性があります。
流動性リスク	ファンドで短期間に相当金額の換金申込みがあった場合、組入れている株式や債券を売却することで換金代金の手当てを行いますが、組入れている株式や債券の市場における流動性が低いときには、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

ご注意

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。そのため、マザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・解約等に伴う資金変動等があり、その結果、マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。
- 分配金に関する留意点
分配金は、預貯金の利息と異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額が下落します。
分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

【トムソン・ロイター リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2017】

(注1)「トムソン・ロイター リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2017」について
「トムソン・ロイター リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2017」は、世界各都市で開催している「Thomson Reuters Lipper Fund Awards」プログラムの一環として行われ、日本において販売登録されている国内および外国籍ファンドを対象に、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。選定/評価に際しては、トムソン・ロイター リッパー独自の投資信託評価システム「リッパー・リーダー・レーティング・システム(トムソン・ロイター リッパー・リーダーズ、Thomson Reuters Lipper Leaders)」の中の「コンシスタントリターン(収益一貫性)」を用いています。

(注2) 最優秀ファンドの評価方法について

・評価対象ファンドは、日本国内で販売登録されているファンドのうち、2016年末時点で36カ月以上の運用実績のあるファンド並びに2017年4月1日以降に償還を迎えるファンドとします。
・リッパー独自のファンド分類を用い、1つの分類に上記該当ファンドが10本以上(「確定拠出年金」部門は5本以上)存在するすべての分類(「スポット・ファンド」、「その他セクター」分類、「機関投資家用分類」及び「通貨選択型ファンド」を除く)を評価対象とします。
・評価期間は、「3年間」、「5年間」及び「10年間」とし、リッパー独自の投資信託評価システム「リッパー・リーダー・レーティング システム(トムソン・ロイター リッパー・リーダーズ)」で採用している「コンシスタントリターン(収益一貫性)」と同様の評価を行い、各分類の最優秀ファンドを選定します。

(注3) 運用会社アワード評価方法

債券部門、株式部門、ミックスアセット部門、総合部門において、最優秀運用会社を選定します。
債券部門、株式部門においては5本、ミックスアセット部門においては3本、該当部門のファンドを有する運用会社を評価対象とします。総合部門については、債券部門、株式部門においてそれぞれ5本以上、ミックスアセット部門において3本以上のファンドを有する運用会社を評価対象とします。
債券、株式、ミックスアセットの各部門の評価では、評価期間を3年間として、対象運用会社の該当ファンドすべてについて、上記「コンシスタントリターン(収益一貫性)」と同様の評価を行い、運用会社ごとの該当ファンド平均値にてランキングし、最優秀運用会社を選定します。
総合部門も同様の評価方法を用いて、運用会社ごとの該当ファンド平均値にてランキングし、最優秀運用会社を選定します。

【インデックスについて】

- TOPIXは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、株価指数の算出、公表、利用などTOPIXに関するすべての権利およびTOPIXの商標に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。また、これらの情報は信頼のおける情報源から得たものではありませんが、株式会社東京証券取引所はその確実性および完結性に責任を負うものではありません。
- NOMURA-BPI 総合指数は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社及びその許諾者に帰属します。なお、野村證券株式会社及びその許諾者は、対象インデックスを用いて行われる弊社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- MSCIインデックスに関する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他、あらゆる形態を用い、インデックスの全部または一部を複製、配付、使用することは禁じられています。またこれらの情報は信頼のおける情報源から得たものではありませんが、その確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。
- シティ世界国債インデックス、シティ欧州国債インデックス、シティ米国国債インデックス、シティドイツ国債インデックス及びシティ英国国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。
- Russell/Nomura 日本株インデックスの知的財産権およびその他一切の権利は野村證券株式会社および Frank Russell Company に帰属します。なお、野村證券株式会社および Frank Russell Company は、当インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、インデックスの利用者およびその関連会社が当インデックスを用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- ラッセル・インデックスに関連するトレードマーク、サービスマークおよび著作権は、ロンドン証券取引所グループに属する会社に帰属します。インデックスは資産運用管理の対象とはなりません。またインデックス自体は、直接投資の対象となるものではありません。
- インデックスは資産運用管理の対象とはなりません。また、インデックス自体は直接的に投資の対象となるものではありません。インデックスには運用報酬がかかりません。

重要な注意事項

- Copyright ©2017. Russell Investments. All rights reserved.
- 当資料中「ラッセル・インベストメント」は、ラッセル・インベストメント グループの会社の総称です。
- ラッセル・インベストメントの所有権は、過半数持分所有者のTA アソシエーツおよび少数持分所有者のレバレンス・キャピタル・パートナーズとラッセル・インベストメントの経営陣から構成されています。
- フランク・ラッセル・カンパニーは、当資料におけるラッセルの商標およびラッセルの商標に関連するすべての商標権の所有者で、ラッセル・インベストメント グループの会社がフランク・ラッセル・カンパニーからライセンスを受けて使用しています。ラッセル・インベストメント グループの会社は、フランク・ラッセル・カンパニーまたは「FTSE RUSSELL」ブランド傘下の法人と資本的関係を有しません。
- 当資料はラッセル・インベストメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その情報の正確性や完全性についてこれを保証するものではありません。
- 当資料の中で掲載されている内容は当資料作成時点でのものであり、将来の投資成果や市況動向等を保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。
- 当ファンドは、預金、保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 金融商品取引業者（従来の証券会社）以外の登録金融機関でご購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

